

株式会社 近藤農産



1 現在の経営内容等

(1) 経営理念、キャッチフレーズ等

安全、安心な農作物と加工品を皆様の食卓にお届けする。

(2) 栽培技術の特長

水稲直播栽培の試験導入や大豆のせん葉技術など新しい技術の導入に積極的に取り組んでいる。水稲、大豆栽培ではエコファーマーを取得し、環境に配慮した栽培を行っている。大豆と水稲の輪作体系に取り組み、大豆の連作障害を回避し、品質や収量の向上に努めている。

(3) 販売の特長

自家生産の米のほか、味噌、納豆、切りもちなどの農産加工品を販売している。米、加工品は道の駅や地元スーパーで販売しているほか、電話、ファックス、インターネットにて地方発送も行っている。加工品の一部は宮城県特別表示認証食品として認証を受けている。

(4) 経営組織の特長

親子2代の家族を中心とした一戸一法人である。一戸一法人であることを生かし常に役員間で話し合いを行い、適切な会社運営に取り組んでいる。構成員は家族4名で、常時雇用は3名、他にパート3名を活用している。代表取締役は息子が務めている。息子と父が生産部門、息子の配偶者と母が農産加工部門を担当している。

(5) 労務管理の特長

勤務時間は8:00~17:00(季節変動あり)。計画

的でゆとりある暮らしの実現のため、週休2日制を取り入れている。また、安心して仕事に従事できるよう、各種保険に加入している。パートは農産加工部門で活用している。

(6) 経営管理の特長

パソコンを活用した複式簿記記帳による経営管理を行っている。税理士に任せきりにせず、税理士と相談しながら適切な会計処理を行うようにしている。

(7) その他の特長

仙台市等で開催されるイベントやスーパーでの対面販売を通じ、都市部の消費者との交流を図っている。平成22年からは、市主催のファームステイの受け入れを開始しており、県内外問わず中学生を受け入れ、味噌加工などの体験を指導している。

2 これまでの経過

(1) 法人化するまでの特徴的な歩み

畜産経営(豚700頭、肥育牛100頭)を行っていたが、平成3年に公共工事による住居移転があり水稲と大豆栽培に特化した経営に転換した。耕作者がいなくなった地域の農地を借入し、責任を持って管理を行ってきた。その結果、地域から信頼される担い手として、規模拡大と良質な水稲・大豆生産の両立を図ってきた。経営転換後は、代表の母が農閑期に自家生産の水稲・大豆を利用して味噌加工に取り組み始め、平成14年に農産加工施設を建設し、委託製造も活用しながら、自家生産の米・大豆等を材料とした様々なオリジナル商品の開発と加工、販売に取り組んできた。

経営のプロフィール

経営概要

- ・水稲(10ha)
- ・飼料米(20ha)
- ・大豆(20ha)
- ・切り餅、味噌等加工

主な施設・機械の保有

- ・トラクタ5台(130ps, 105ps, 82ps2台, 60ps)
- ・コンバイン2台(7条刈り, 普通型コンバイン)
- ・田植機(8条植え)
- ・マニュアルスプレッタ(3t)
- ・色彩選別機
- ・乾燥機
- ・農産物加工施設

構成員等

構成員4名, 常時雇用3名, パート3名

法人設立年月日

平成21年5月22日

認定農業者認定年月日

平成25年3月19日

出資金又は資本金

300万円

販売額

3,600万円(平成24年度)

役員名

代表取締役: 近藤 充
取締役: 近藤 喜恵子, 近藤 さゆり

主な過去の導入事業及び農業制度資金活用

農林公庫資金, 近代化資金,
農業振興基金ふるさと食品活性化ネットワーク支援事業(H14年)

(2) 法人化の動機や法人設立時の特徴的経過, 法人化後の変化

農産加工部門と水稲・大豆生産部門がともに順調に事業拡大し息子も就農したことから、今後の経営の安定化と信用力向上のために平成21年に「株式会社 近藤農産」を設立した。法人化によって雇用の充実を図るとともに役割分担を明確化させ、さらなる経営発展に向け社員一丸となって努力している。

3 今後に向けて

(1) 解決すべき課題と現在検討中(取組中)の対処方策

生産分野では飼料米の一部のみ直播栽培に取り組んでいるが、主食用米にも直播栽培を導入し、生産規模拡大を図っていきたく考えている。農産加工分野では切りもち需要の拡大に対応するため、施設増強を図る予定である(平成25年12月末現在)。

(2) 今後に向けての経営戦略

今後も消費者の安全・安心な農産物の提供と、顧客に対し生産ほ場や加工施設の現地見学会などを企画し、登米市農産物の良さを広く知ってもらいたいと考えている。また、後継者に味噌などの加工技術の継承を図っていきたく考えている。

(調査: 登米農業改良普及センター)

略図



株式会社 近藤農産

登米市南方町太田1番地35
TEL 0220-58-3222
FAX 0220-58-4647
URL <http://www.mame-co.com/>
E-mail ホームページメールアドレスより

視察受入条件

要相談